

新しい避難のカタチ

森本・富樫断層を震源とする地震が起ると、野々市市では震度6強を記録する恐れがあり、想定避難者数は2500人にも上ります。また、ゲリラ豪雨や大型台風がいつ私たちを襲うかもわかれません。コロナ禍の今、「もしもの時に備えて何ができるでしょうか。



自宅避難という選択

「災害が起きたらとりあえず避難所！」と考えてはいませんか？避難所は、自宅などが危険な人を受け入れる場所です。スペースも限られているため、多くの人が

密集すると感染症のリスクが高まります。避難とは「難」を「避」すること。自宅が安全な場合は無理に避難所に向かわず、自宅避難というのも一つの選択です。

自宅の安全を確保する

自宅での避難を考える時には、自宅とその周辺にどんな災害リスクがあるのかを知ることが大切です。災害時に慌てることのないよう、事前に危険度チェックや家の中の安全確保をしましょう。

◆洪水ハザードマップ



今いる場所の浸水想定をスマートフォンで簡単に調べられる「WEB版洪水ハザードマップ」を公開しています。また、令和2年5月に全戸配布した洪水ハザードマップはホームページでも確認できます。日ごろからチェックし、災害に備えましょう。

WEB版洪水ハザードマップはこちら→



建物倒壊を未然に防ぐ！

過去の地震による建物倒壊などの被害は、昭和56年5月以前の住まい（旧耐震基準の住宅）に多く生じています。これらの住まいについて、耐震診断や耐震改修の補助を実施しています。耐震改修は、定額150万円という全国的にも手厚い補助金があります。ぜひ検討ください。

危険なブロック塀はありませんか？

地震でブロック塀が倒壊すると、人的被害や避難・救助活動の支障となる恐れがあります。日頃から安全点検を行い、危険なブロック塀を無くしましょう。

また、市はブロック塀を除却して生け垣などを設置する工事に補助金を交付しています。こちらも活用ください。

問 建築住宅課 ☎ 227-6087



ローリングストックのすすめ

避難所には災害に備えた物資が備蓄されていますが、その量には限りがあります。また、家庭によって必要な物資も異なります。自宅避難でも避難所へ行くにしても、必要なものは事前に準備が必要です。とは言え、備蓄の必要性を感じていても、非常食の賞味期限の管理や過不足の確認など、備蓄を維持していくのは難しいもの。そこでお勧めしたいのがローリングストックです。



備蓄品（例）

食事

- 飲料水（1人1日3㍑以上）
- 食品（おにぎりやパンなどの主食、缶詰やレトルト食品などの副菜を準備）

生活用品

- 携帯・スマートフォン充電器
- タオル ティッシュ
- マウスウォッシュ
- ウエットティッシュ
- 衣類 ボディペーパー
- ゴミ袋 非常用トイレ
- ラップ 使い捨て食器
- 常備薬 応急用品

必要に応じて備蓄するもの

- ベビー用品（ミルク・ほ乳瓶・紙おむつなど）
- 介護用品 生理用品

非常時持ち出し品

- 懐中電灯 電池 現金
- 通帳・ハンコ
- 持病のある人は処方薬

感染症対策品

- マスク 消毒液・石けん
- 体温計 人数分のタオル
- 内履き（スリッパなど） 防寒着
- ビニール手袋

ローリングストックとは？

普段からレトルト食品や缶詰などを買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄する考え方です。日常生活で消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、災害時でも日常生活に近い食生活を送ることができます。



Q&A

Q. 備蓄品はどのくらい用意したらいいの？

A. 最低でも3日分！

災害発生後72時間の最優先事項は人命救助です。公的機関は生存者の捜索を優先して行うため、支援が始まるまでの期間（=3日間）を自力で過ごすための備蓄が最低限必要です。

不安な時は迷わず避難所へ！

自宅避難について紹介してきましたが、これらはあくまで「自宅が安全な場合」の選択肢です。地震で自宅倒壊の恐れがあったり一人での生活が不安だったりした時には、迷わず指定の避難所に避難してください。市でも避難所の感染症対策を進めていますが、避難者一人一人の行動も重要です。避難時には感染予防の物品を忘れずに持参してください。

コロナ禍の災害で一番怖いのは「感染症を恐れて避難しないこと」です。安全が確保できない恐れがあるときは迷わず避難所へ避難しましょう。



災害時避難場所の確認はこちら→

新型コロナウイルス感染症対策 避難所運営訓練実施！



10月10日㈯、「新型コロナウイルス感染症対策避難所マニュアル」に基づく避難所開設訓練を実施し、防災士や避難所担当者など40人が参加。検温や消毒の徹底に加え、感染症予防エリアと居住エリアのゾーニングや十分な身体的距離を確保した居住スペースの設置など、感染症対策を講じた避難所開設手順を確認しました。

